

基本事業コード	13060001	担当課所名	市立病院管理課
基本事業名	市立病院管理事業		
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

基本事業の概要	市立病院の施設設備、経営、人事管理を行うことにより、秩父地域の住民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。
---------	--

対象	秩父地域の住民
意図 (対象をどのようにしたいか)	(施設整備、経営、人事管理を行うことにより、)より良い医療が提供できる環境を整備したい。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	2年度	評価年度(3年度)		5年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
医療収益に対する職員給与費の割合	職員給与費/医療収益×100	成果指標 %	62.8	59	61.5	65.7	黒字同規模病院平均値: 65.7%(R2決算)
医療収益に対する医療材料費の割合	医療材料費/医療収益×100	成果指標 %	17.4	16.4	17	16.9	同:16.9%(R2決算)
1床あたりの償却資産(建物)	(償却資産-減価償却累計額)/許可病床数	成果指標 千円	8,723	13,890	8,270	13,993	同:13,993千円(R2決算) ※近似値がよい
整備不良による年間医療機器事故件数		成果指標 件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類	事務事業評価 5年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		2年度決算額	3年度決算額	4年度予算額				
01	市立病院内部管理事務	指標:医療収益に占める職員給与費の割合	59	成果指標	B			
		511,979,284	506,510,558	616,813,000	61.5	%	維持:拡充	
02	医療材料購入事務	指標:医療収益に占める医療材料費の割合	16.4	成果指標	B			
		445,156,817	433,136,205	469,259,000	17	%	維持:拡充	
03	市立病院施設設備維持管理事業	指標:1床あたりの償却資産(建物)	13,890	成果指標	B			
		355,998,807	279,655,462	313,741,000	8,270	千円	維持:拡充	
04	医療機器等整備事業	指標:整備不良による年間医療機器事故件数	0	成果指標	B			
		290,521,028	267,485,360	284,984,000	0	件	維持:拡充	
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円)		1,734,851,000	1,597,056,000	
事業費の合計(円) (A)		1,603,655,936	1,486,787,585	1,684,797,000
財源内訳	国庫支出金	136,549,000	116,627,000	0
	県支出金	14,097,000	30,234,000	0
	地方債	69,600,000	9,700,000	43,300,000
	その他特定	418,206,610	442,120,000	445,611,000
	一般財源	965,203,326	888,106,585	1,195,886,000
正規職員	業務量	181.73人	173.23人	
	人件費(B)	1,430,102,035	1,374,998,936	
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量	46.00人	45.00人	
	人件費	209,324,407	201,460,808	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		3,033,757,971	2,861,786,521	

【重点化欄】
評価時点以降の事業の方向性から
◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
○:重点化必要事業(1つ以内)
△:劣後化可能事業(1つ以内)
▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	完了	完了	皆減	縮小	維持	拡大
完了	D	x	x	x	x	x
縮小	x	x	C	x	x	x
維持	x	x	B	A	x	x
拡大	x	x	x	x	x	x
皆減	x	x	x	x	x	x
縮小	x	x	x	x	x	x
維持	x	x	x	x	x	x
拡大	x	x	x	x	x	x

コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 病院経営を人事管理、用度管理、施設管理の視点から指標を定め、黒字同規模病院の平均値を基に目標値を設定している。職員給与費割合は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が回復せず、それに比例して数値が悪化している。医療材料費割合はベンチマークの活用等により改善しているものの、目標値との乖離が生じてしまっている。施設管理、医療機器等整備については、耐用年数や緊急性などから優先順位を適切に把握し、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、経営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが、秩父保健医療圏(1市4町)の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに病院群輪番制の役割を担っている。また、地域に不足している医療や不採算部門の医療についても担っていく必要がある。

◆改善提案◆

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 枝番号04医療機器等整備事業を特に重点化する事業とした理由は、コロナ禍においても安心・安全な医療を提供するために老朽化した医療機器を更新する必要があるからである。令和4年度はデジタルX線透視診断装置や超音波診断装置等の更新を行い、令和5年度以降も耐用年数、使用頻度を考慮し、随時更新していく予定である。		
枝番号03市立病院施設設備維持管理事業を重点化する事業とした理由は、医療機器と同様に老朽化に伴い、修繕や設備の更新が必要となっているからである。令和4年度は吸引式冷温水発生機改修工事、受変電設備改修工事、空調機改修工事を行う予定で、継続的に適正な維持管理に努めていく必要がある。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		2年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	新型コロナを起因とした一部外来診療の制限や入院抑制により減少した収益を回復させるためには、通常の診療体制を再構築し、収益を確保していかなければならない。そのためには不足する医療スタッフの確保が必要となるが、医師についてはちちぶ医療協議会の総合診療専門医養成プログラムによる専攻医を確保し、看護師については引き続き随時募集による通年採用を実施し、ハローワークやホームページ上で募集するほか、専門学校、大学等にも周知することで人材確保を図る。	コロナ禍による一部外来診療の制限や入院の抑制に伴い、収益が減少しているため、新型コロナ対策を行いつつ、通常診療に戻し、収益を確保していく必要がある。通常診療を維持していくためには人員が必要となるが、予定人員を下回る医療職もあるため、年度単位で募集していた採用方法に随時募集も加えるなど、人材確保を図る。 人員不足を解消するため、随時募集による通年採用で人員を確保できた一方、同じ程度の離職者があり、定年退職者も含めると令和2年度と比較して医療職は8人の減となった。特に医師、看護師が不足している状況である。
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	コロナ禍においても安心・安全な医療が提供できるよう、デジタルX線透視診断装置や超音波診断装置等の医療機器の更新を行う。また、施設を適正に管理していくため、吸引式冷温水発生機改修工事、受変電設備改修工事、空調機改修工事など、老朽化した電気設備、機械設備の更新を行う。 新型コロナ対策では、国や県の補助金を活用して、防護服など消耗備品を確保し、必要な医療機器の整備を進めていく。	コロナ禍においても安心・安全な医療が提供できるよう、全自動輸血検査システムや手術室の手術台等の医療機器の更新を行う。 また、新型コロナ対策として、必要となる医療機器、消耗備品等がある場合は国や県の補助金を活用して整備を行う。 全自動輸血検査システムや手術室の手術台等の医療機器の更新をおこなった。また、国庫補助金を活用して、簡易陰圧装置の追加整備やPCR検査装置を購入し、新型コロナ対策の充実を図ることができた。
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	新型コロナが終息する見通しは立たないものの、地域の中核病院としての役割を果たすためには、感染対策を行いながら、通常の診療体制、救急医療体制の堅持に努めていかなければならない。持続可能な医療を提供していくためには経営基盤の強化が必要なことから、市立病院中長期計画に基づき、「公立病院経営強化プラン」を令和5年度までに策定する。策定後は定めた目標を達成するために必要な事業を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策として、医療用消耗備品の備蓄や病床の確保、医療機器の整備を行うとともに、通常の診療体制、救急医療体制の維持を確保したうえで、市立病院中長期計画に基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進める。 備品の確保や医療機器の整備、救急医療体制の維持は問題なかったが、令和3年度もコロナの影響により通常診療に支障をきたし、一部外来を抑制するなどの対応を取らざるを得なかった。改善を進めるためにもコロナ禍以前のような診療体制を再構築し、持続させることが必要となる。
行政改革大綱推進項目		
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数	件数 7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化
	0	PPP・PFI・包括外部委託等導入数 0
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	石野 雅禎	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13070001	担当課所名	市立病院医事課
基本事業名 市立病院医事事業			
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。
---------	---

対象	患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	2年度	評価年度(3年度)		5年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	成果指標 人	98,336	117,000	99,903	117,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類	事務事業評価 5年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			実績値(下段)			
		2年度決算額	3年度決算額	4年度予算額				
01	医療情報システム維持管理事業	指標:待ち時間満足度			72	成果指標	A	
		91,205,303	45,283,111	46,761,000	74	%	維持:維持	
02	医療費請求・収納事業	指標:医療費査定率			0.2	成果指標	B	◎
		74,874,012	77,847,876	79,137,000	0.17	%	維持:拡充	
03		指標:						
04		指標:						
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						
(参考)最終予算額(円)		173,347,000	127,659,000					
事業費の合計(円) (A)		166,079,315	123,130,987	125,898,000				

財源内訳	事業費の合計(円) (A)		
	2年度	3年度	4年度
国庫支出金		2,002,000	
県支出金			
地方債			
その他特定	16,913,000		
一般財源	149,166,315	121,128,987	125,898,000
正規職員	業務量 4.27人	5.77人	
人件費(B)	25,013,289	33,483,223	
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量 人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)	191,092,604	156,614,210	

【重点化欄】
 評価時点以降の事業の方向性から
 ◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
 ○:重点化必要事業(1つ以内)
 △:劣後化可能事業(1つ以内)
 ▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	完了	皆減	縮小	維持	拡大
完了	×	×	×	×	×
皆減	×	×	×	×	×
縮小	×	×	×	×	×
維持	×	×	×	×	×
拡大	×	×	×	×	×

コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者に利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診数を伸ばし、健全な運営を継続していけるよう、基本事業の意図として適切な指標であると考え。実績値については、目標値を達成できず、昨年度と比較して受入患者数は、ほぼ横ばいであった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の不安による、特に外来の消化器内科・透析、入院の消化器内科・整形外科での受診者数減少が考えられる。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。)患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った診療内容について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で算定を行い、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を行い、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続し、患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公立病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要								
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 二次救急輪番日の増加に伴い救急受入数の増加が見込まれ、保険証の不提示や交通事故などの受診が増えることにより、未収金の増加が懸念される。また、新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少する中で、医業収益の安定的な確保のためには、限られた診療報酬を確実に請求・収納する必要があり、今後も重点的に取り組むべきであると考え。</p>									
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由								
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)									
<p>予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案</p>	<p>2年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の不安により、外来・入院患者数が減少している。一方、2021年5月末から新型コロナウイルスワクチンの65歳以上個別接種が始まる。患者数の減少による医業収益の縮小をできる限り抑制しつつ、かつ限られた施設内で密を避けつつワクチン接種体制も維持する必要がある。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種については、受付レイアウト等を工夫し、限られたスペースの中、必要最小限の人員で接種を実施できた。また、これに伴い、国・県から、接種委託費や各種補助金を受け取ることができ、医業収益の確保に寄与することもできた。</p> <p>改善状況 ○</p>								
<p>予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案</p>	<p>院内情報系のネットワーク機器の更改を行い、インターネットを使用する環境のセキュリティ向上を図る。 また、院内情報系のサーバについても更改の時期が迫っているため、予算要求に向けて次期サーバの仕様検討し、費用対効果を考慮した最適な院内情報系システムの構築を目指す。</p> <p>電子カルテシステムの更新に伴いシステムを構成する機器が一新されるため、適切に保守を行いシステムの安定稼働に努める。 また、新型コロナウイルス感染症対策のため、リモート会議等の情報機器を利用したコミュニケーションに対するニーズが増大している。これらのニーズに柔軟に対応できるよう、院内のネットワークや情報機器の充実を図り、事務効率の改善や医療の質の向上、患者満足度の向上を実現したい。</p> <p>電子カルテシステムは、天なき問題なく稼働できているため、この状況を維持していきたい。 リモート会議の要望に対しては、リモート会議用PC、広角カメラ、スピーカマイク等の整備や、各会議室のネットワーク整備を行った。</p> <p>改善状況 ○</p>								
<p>中長期的(3~5年)に取り組む改善提案</p>									
行政改革大綱推進項目									
6-1-(3) 行政のデジタル化	<table border="1"> <tr> <td>デジタル化導入数</td> <td>件数</td> <td>7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>	デジタル化導入数	件数	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数		0		0
デジタル化導入数	件数	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化	件数						
	0		0						
<p>改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 診療部門と医事部門の連絡・調整がスムーズに図られることで、待ち時間の短縮や医療費請求が適切に行われる。患者サービスが向上し安心・安全な医療の提供に繋がる。</p>									

基本事業執行責任者 (担当課長名)	石間戸 美佐	電話番号 0494-23-0611
----------------------	--------	----------------------

基本事業コード	13080001	担当課所名	市立病院診療所事務局
基本事業名 大滝国保診療所管理運営事業			
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 27 ページ

基本事業の概要
 所内施設の維持管理及び医療機器の更新等計画的に実施して、診断水準の向上を図りより良い医療、看護が提供できる環境を整備すると共に診療内容について患者のニーズや費用対効果等に見合う事業の実施に努める。

対象 診療所利用患者
意図 (対象をどのようにしたいか) より良い医療と看護を提供し、疾病を治癒して健康への快復を図る。

基本事業指標	指標の算式	種類 単位	2年度	評価年度(3年度)		5年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
大滝診療所患者数		成果指標 人	3,033	—	2,715	—	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名	指 標			目標値(上段)	種類 単位	事務事業評価 5年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		2年度決算額	3年度決算額	4年度予算額	実績値(下段)			
01	内科診療事業	指標:内科患者数	577,450	844,832	914,000	2,597	人	維持:維持
02	診療所施設整備・維持管理事業	指標:診療所利用患者数	16,558,449	14,125,687	22,362,000	2,715	人	維持:拡充
03	医療材料購入事業	指標:医療収益に占める材料費の割合	20,152,847	13,440,654	24,000,000	39	%	維持:維持
04	医療機器等整備事業	指標:年間医療事故数	1,109,834	765,732	4,176,000	0	件	維持:維持
05	送迎車運行事業	指標:年間送迎車利用者数	4,612,555	2,182,244	2,304,000	733	人	維持:維持
06	歯科診療事業	指標:歯科診療患者数	2,044,628	2,302,244	2,701,000	118	人	維持:維持
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考) 最終予算額(円)		83,674,000	63,244,000	
事業費の合計(円) (A)		45,055,763	33,661,393	56,457,000
財源内訳	国庫支出金	12,479,000	13,691,000	12,479,000
	県支出金	11,026,000	8,012,000	11,026,000
	地方債			
	その他特定			
	一般財源	21,550,763	11,958,393	32,952,000
正規職員	業務量	5.15人	4.90人	
	人件費(B)	30,168,252	28,434,627	
会計年度任用職員 (事業費に含む)	業務量	2.71人	2.71人	
	人件費	7,037,796	7,583,152	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		75,224,015	62,096,020	

【重点化欄】
 評価時点以降の事業の方向性から
 ◎:特に重点化必要事業(1つ以内)
 ○:重点化必要事業(1つ以内)
 △:劣後化可能事業(1つ以内)
 ▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	×	C,B	B,C	C	
	維持	×	×	B	A	×	
	縮小	×	×	C	×	×	
	休廃止	×	D	×	×	×	
	完了	D	×	×	×	×	
	完了	皆減 縮小 維持 拡大					
		コスト投入の方向性					

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 大滝地区では、高齢化、過疎化が著しく、令和3年では人口が前年比9.4%減少している。人口減に比例し、患者数も前年比10%減少となっており、今後も減少傾向となることが想定される。しかし、当診療所は、大滝地区唯一の医療機関であり、住民が安心して診療が受けられ、健康的な生活を維持できるよう、運営の継続は必須である。一方で、一般財源からの繰入金を減少させることも重要なため、地域特性に合わせた工夫をし、患者数の減少を抑える必要があり、目標としては適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 住民が安心して医療サービスが受けられるよう、医療機器の整備をはじめ患者送迎車及び住診用自動車の適正管理・運行を図るとともに、受診等も含めた地域医療体制の充実を図るために事務事業として妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 大滝国民健康保険診療所は、過疎化、高齢化が著しい大滝地域における唯一の医療機関であることから、市が運営することが妥当であると考えられる。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述	
02診療所施設整備・維持管理事業において、診療所の大滝総合支所への移転計画に併せて、移転完了まで期間、診療に支障のないよう、最小限の修繕等を行い、安全な診療環境を維持する。現在、故障または不具合のある設備について、診療への影響を考慮して対応し、安全かつ円滑に診療が継続できるようにする。以上から最重点とする。	
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)	
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	2年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 令和2年11月から診療検査医療機関の指定を受けて、発熱患者の診察を行っている。今後も引き続き院内の感染予防対策を徹底して行うとともに、発熱患者がスムーズに受診し、適切な診察を受けられるよう、体制を整える。 所内の対応マニュアルを作成し対応しており、感染予防対策の徹底と、円滑な診察体制ができています。 改善状況 ○
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	診療所内の空調設備の故障により、数か所の冷房機が作動しにくい状態にあるが、診察への影響が大きい内科診察室については修繕にて対応する。他については、送風機にて対応する。 レントゲン室の除湿器が老朽化により支障があるため更新する。 除湿器の更新により、レントゲン装置等の不具合や医療事故等もなく安全に検査を行うことができています。 改善状況 ○
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案	
行政改革大綱推進項目	
6-1-(3) 行政のデジタル化	デジタル化導入数 件数 0
	7-1-(1) 事務及び人事の効率化・適正化 PPP・PFI・包括外部委託等導入数 件数 0
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 安全な診療環境を維持し、地域の医療提供体制を確保する。	

基本事業執行責任者 (担当課長名)	金子 伸江	電話番号 0494-55-0341
----------------------	-------	----------------------